

執筆担当：斎藤登美夫

25/12/17

しかし、やや興味深いのは、1973 年の変動相場制以降過去 4 回の「午年」相場のうち 3 回までが、歴史的に見てなかなか象徴的なレートを記録していることになる。記録としてはもっとも古い 1978 年は、変動相場制が導入されになり固定相場時代の 360 円からドルが一貫した右肩下がりをたどるなか、当時の最安値 175.50 円を記録し底入れを達成した年。次回の 1990 年は逆に 160.20 円というドルの戻り高値、そして 2002 年も 135.20 円というやはりドルの戻り高値――を記録していた。幸か不幸か前回 2014 年は、とくに目立ったレートを記録したということはなかったものの、「過去 4 例中 3 回」で発生していたということは、一応頭の片隅にでもとどめておきたいところだろう。

一方、過去の「午年」でもっとも思い出深いのは、先で取り上げた「株安進行」と関係性の深い、1990 年「日本のバブル崩壊」か。株価的には 1989 年 12 月 30 日が当時最高値になるものの、いわゆる崩壊が顕在化したのは 1990 年の「午年」と言ってよい。また、2002 年は欧州において、「単一通貨ユーロの流通開始した年になる。(了)

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の**無断転載・転送**もご遠慮ください。
なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。